

06 通信

1976年

12月

信州大学山岳会

伊那松本山岳部

SIMAC

(OB係より)

松本から望む常念に、また伊那から見上げる仙丈にも、すっかり雪が定着しています。皆様いかがお過ごしでしょうか。現役部員は、冬山目前にひがえ、すでに本格的な準備に入っています。

OB通信の発行を今白まおはし、さすに、詩画書・報告書の送達も著しく滞らせ、OBと班との連絡を一年近く空白にしてしまったのは、OB係の怠惰のためと、深く反省しております。申し訳ありません。皆様迷惑ばかりかけているOB諸氏に、現役の様子を少しでもお知っていたら幸いです。今後、ズブを出して頑張りたいと思います。

12/14 OB係

(C.L.より)

あと数日で、冬の剣に入ります。O高氏には、初めて、? 使いますが、いかがお過ごしでしょうか。今年の新人は宿から、小生がLeaderをつとめさせていたっております。何かと、冬山に入れそうです。今年は、其太田岳から、立山アタックを計画しており、23日間というひさびさに長期の山行です。

来年は2人だけでもありますが、著OBを送り出す事ができそうです。よろしくお願ひします。

12/12. C.L. 須貝

(1976 SIMAC 構成)

- |      |       |           |
|------|-------|-----------|
| C.L. | 須貝 志明 | 4-IV-A・林  |
| S.L. | 古橋 考夫 | 4-IV-A・林工 |
| 遭対   | 二俣 勇司 | 2-III-L・経 |
|      | 吉田 秀樹 |           |
| 新人   | 師田 信人 | 3-III-M   |
| 指導   | 下田 章  | 2-II-A・経  |
| 装備   | 藤元 治朗 | 4-III-M   |

記録 岡本真一 2-III A.園  
 会計 片山博彦 2-II A.林  
 OB 二俣勇司

上会員 3,4年部員

その他 部員

おなじみ old face です。

三坂健次 4-VIII A.林  
 中田茂 4-VII L.文  
 吉田秀樹 4-VI L.文  
 福島涉 4-V A.林工  
 牧瀬敏裕 4-V A.園

新人合宿では 9人いた新人も、いつのまにか、3人になつてしま  
 ました。しかし、それだけに残った3人は.....  
 今後が楽しみです。

羽鎌田学 1-I A.園  
 田中誠司 1-I A.林  
 藤本泰弘 1-II B.物

**SAC 構成**

○ SAC 委員会メンバー

委員長 宅知正彦 (4IV T)  
 遭村 二俣勇司  
 新人指導 山本章 (2III E) 師田信人  
 会計 吉橋孝夫  
 その他 土田章 (3III F) 瀬須貝与志明

○ 遭村小委員会 二俣勇司 土田章 福井修 (4III T)

	松本	伊那	SIMAC	長野	上田	SNUAC	SAC
I	1	2	3	1	0	1	4
II	0	2	2	2	1	3	5
III	3	1	4	2	1	3	7
IV	0	2	2	2 <del>串</del>	1 <del>串</del>	3	5
V	1	2	3	1	0	1	4
VI	0	0	0	1	0	1	1
VII	1	0	1	1(院)	0	1	2
VIII	0	1	1	1	0	1	2
	6	10	16	11	3	14	30

### 清川君のその後(マヤ所立岩での事故)

• 去年の10月9日に事故を起こしてから早1年と2ヶ月余  
たってしまいましたが、その折には、大変御迷惑をおかけし  
ました。又、御意見、カンパ等 ありがとうございます。

清川君は12月末の意識回復後も7月20日まで、  
信大病院に入院していましたが、歩行訓練に専念するた  
め、波田病院に移り、その後不完全ながらも一人で歩  
くことができようになりました。しかし一人で瀦入院生活  
をおくれるようになったとはいえ、失った精神機能の  
回復を計ったかどうかという事で10月中旬に退院を催  
められました。御親族の方の希望で現役も波田  
病院に入院中です。

これから回復には、まだまだ多くの年月を要する事  
と思いますが、経過等 順次報告したいと思っております。

12/14 吉田

新OBより(特別寄稿)

「半OBの記」

臼井 武

「今、何してるんや?」と聞かれて困ってしまう。「まあ、自由契約肉  
体労働日雇い業に いそしんでいます。」と答えるしかない。  
山岳部員たるもの四年で卒業してはいけなさと独善的に考え  
ているうちに、高度成長の時流に乗り損ね、気が付いてみたら  
社会人でもなく、学生でもないという“ニラモリ”みたいな存在になっ  
ていた。社会復帰は、まず必要条件を満たさねばと、自動車学  
校へ転入ったものの、教官の「おせじの一つも言え」という言葉  
に世の中というものは、そういうものがなあと思うと同時に、  
運転センスのなさに てよとして社会に適応できないの  
じゃないかしらと、自閉的気分にさせられたり、又、反対に何  
の束縛も受けない今のような状態がずっと続いたら  
なあと思ったりして心は 右に左にと振幅する。不幸なのは  
半OB。しかし、白出十恵蔵 粉する 藤村泰助の  
ように、ある時は OB、又、ある時は現役、白出十恵蔵  
合のいのように使い分けることができるのが利点といえ  
ば利点。もっとも 現役の衆にががれば逆手にとられる  
のがあちではあるが……。やっぱり半OBは癒れるので  
ある。

現役より(「雑人雑感」より抜粋)

5/7 いつのまにか、又、新人を迎える中で思ったことをいくつか…  
みんなが何がしものものを求めて山岳部へ来たと思うけど、  
それがたとえ今の部のあり方と違っていても、最後まで、  
追求して行ってほしいということ。周囲の雑音に感わされ  
ることなく、自分の山の目標というものをしがり見つけ  
てほしいということ。最後に山への情熱をいつまでも持た  
つづけしてほしいということ。……

6/11 …… 新人合宿を終えて 一年生は様々な感慨をこめて  
次のステップへと踏みだしているでしょう。…… たた

備えとか技術とか装備とかは、方法だ。弱れてはいけない。君達の目的は山へ登ること。それも一人でではなく、Partner とともにだ。本質は人間 其中にあると、思います。-----

6/25 今年も夏が来た。-----今年も去年より山行が増えた以外なんの統一性にも欠けていて、別にいいけどさ。ただ、自分の山ってのは今だにわからないのに、一年はどこへ連れていけとか、先輩はどこそこへ行こうとか言ってくれる。しつこい人ですよ、下界にいます。山に行ってる方がいいんだが。今年もまた夏が来て、こわい岩登りをして、こわいこわい沢登りをして、えらいえらい縦走をする。考えるだけエライ。早く過ぎよう。but 充実した山行をやりたーいよー。

7/13 -----いまこの部屋に孤独(ひとり)居て、それでも同期の連中の面々を思い浮かべると、何かしらニコリする。上からはたまた下からはつき上げられ(もっとも、今年の1年目は優しい人達でさすがに悪悪ではインケ、親に心配されたせいも、-----山を登り続けるへん連中、----- そうだ、何かひっくり返る様な面白い、判断は計画はないものがネ。イワ、イワ、何としてもイワ。てエ言はは？-----

9/4 紙巻かと思っ、せうかききたのに、どこのボケじゃ、かつてに方えたヤツは！ アホ、ボケナス！ 秋は屏風へ行くの5!

9/6 -----もっと新鮮な気持ち、素直な気持ちで山に入りたい。1年目が、大きなキスリンクと、まだ知らない山に期待と不安断をいただくように、僕も、期待と不安で眠れない様な山行を行ってみたい。

今回の夏合宿は1年目にとっては充分な山行だったと思いますが、2年目以上にとってはどうかな。新人訓練は大切だけど、それだけに熱ってしまっは勿体ない。-----

10/4 冬山がだんだん近づいてくる。けど SIMAC の中で動いている人と、動いてない人を比べたら、はたして、どっちが判りのたろう。-----冬山に、越後三山、黒部下、

廊下横断など、いろいろ計画が出てはいるけど、はたしてそんな事ができるのだろうか。……できたとしても、それは情熱もなにも、あつたものじゃあないだろう。ただ、合宿として、それをこなしたというくさいものだろう。……  
 もっと、みんな、山への情熱があつたっていいと思う。  
 一年生は、冬山を前にして、もっと自分の立場とか、山へ対する考え方を真剣に考えなくちゃあ、冬山へいけないと思う。……もっと実体のあつた山岳部にしよう!

10/7 先日、久し振りに山道を歩き、大きく背のびしました。  
 山に行かない山岳部員——これほどコッケイで悔めな存在は他にあまりない様です。  
 活動停止している1年生諸君、もしルームにゲマインシャフトの香りが少しでも残っているなら、その中で、僕達が若人達に求めるのは情熱(そんな言葉で言われる何れ)であり、それしかない。……

5  
 (活動概況) 17巻 冬山

- 冬山合宿 175 12/22 ~ 176 1/2 C.L 吉田 以下 10名  
 イブリ尾根 ~ 朝日岳 ~ 白馬岳 ~ 相池下山
- 黄蓮谷 (南ア甲斐駒) 12/29 ~ 29 L 高橋 渡部 川口 OB 小根田
- 常念 (東南尾根) 176 2/23 ~ 25 C.L 中田 以下 7名 (全 SNUAC)
- ハク岳 3/5 ~ 3/8 L 師田 片山  
 地獄谷ツルネ東稜 ~ 赤岳 ~ 行者小屋 ~ アミダ北稜 ~ 樺小屋尾根
- ~~常念~~ 火灯 (スキー) L スカイ 福島 村田  
 ブナタテ尾根 ~ 天狗原山 ~ 金山 ~ 焼山 ~ 火灯 ~ 妙高外  
 輪山 ~ 妙高国際スキー場
- 黒部源流スキー 3/11 ~ 3/26 L 古橋 田本 師田 下田  
 神岡新道 ~ 北の俣岳 ~ 太郎平 ~ 薬師又出合 ~ ジイ平  
 ~ ジイ岳 ~ ジイ平 ~ 薬師又出合 ~ 太郎平 ~ 有峰湖
- 横立縦走 3/17 ~ 3/18 L 吉田 二俣 片山  
 双子尾根 ~ 白馬岳 ~ 唐松岳 ~ 五竜岳 ~ 鹿島橋  
 ~ 赤岩尾根

- 北鎌尾根～横尾尾根 4/3～4/6 L吉田 師田
- 五竜東面～鹿島橋 5/1～5/4 L二俣 吉田 師田 片山下田  
東面 G.II-GV (L吉田 師田 二俣)は本鹿島橋～東尾根下山
- 明星山 5/22-23 吉田+SNUAC 3名 (北壁主稜 幽谷)  
東壁のせ～P5D-4ルンゼ状壁 (雨ア小滝川の渡渉悪し)
- 新人合宿 5/30～6/6 L須貝 6/26～28 池田・山崎
- ガキ岳(燕岳・ガキ岳・鷹沢岳) L下田 村田 羽鎌田 藤本 ツカ谷
- 奥又定着 7/3～7/6 L二俣 下田  
四峰 松高・北条新村 北壁Aフェース
- 北岳バットレス 7/7～7/10 L師田 片山  
一尾根ノルマル、二尾根R2、四尾根・シバルツカテ、  
Dカリー奥壁、中央稜ノルマル
- 南ア全山(甲斐駒～光) L村田 下田 ツカ谷 7/13～7/24
- 後立縦走(白馬～針木) L春田 田中 7/15～7/19
- 剣面面 7/18～7/25 L師田 二俣 片山 羽鎌田 山崎
- 南ア南部の沢 7/30～7/30 L吉田 池田 大塚  
奥西河内沢・奥赤石沢・西沢～光～トサカ山
- 中央の沢 7/31～8/5 L村田 三坂 福島 中村 羽鎌田  
片桐松川～中田切川下降
- 中又～奥又～滝谷 7/30～8/1 L片山 下田 ドー4中央稜  
中又白石、奥又四峰北条新村、滝谷一尾根 7/3、7尾根
- 錫杖～壘(沢) 8/4～8/9 L二俣 片山 山崎  
錫杖沢、穴毛谷七の沢、穴毛谷本谷下降 藤本 春田
- 穴毛谷～黒部源流 8/4～8/11 L師田 古橋 下田 田中  
穴毛谷～黒部五郎沢下降～ジイ沢～東沢下降
- 高瀬川面沢 8/15～8/18 L中田 OB服部
- 夏山合宿(剣、マサコ沢出合B.C.) L古橋 以下 14名
- 視高 9/24～10/2 L二俣 下田 羽鎌田 藤本  
(二俣、下田)滝谷下部よりグレポン芳野ルン。湖沢ア谷流後  
北木稜、滝谷二尾根、四尾根、奥又四峰松高。(羽鎌田、  
藤本)湖沢部から北木～橋～双六へ縦走。(二木)  
湖沢列下山。



- 黒部下の廊下 9/25-26 L 藤元 田中 春田
- 明星山(左岩稜) 9/26 L 師田 片山
- 屏風岩 9/15-18 L 師田 片山 + SNUAC 山本  
中央カンテ、東陸ホウショウ (右岩壁は中止)
- 前ア 南中川谷 10/9-10/11 L 吉田 藤本
- 赤沢山 10/9-10/11 L 師田・片山  
針峰P2 橋沢側正面陸大スラブ、奥陸
- 海谷(海川西俣右沢~雨節) 10/11-10/13 L 二俣・下田
- 巻柳山 米子沢 10/15-10/17 L 藤元 + 部外者1
- 越後の山々 10/15-10/19 L 池田 + 部外者1  
荒沢岳、平ヶ岳、オビヶ原
- 雨節山 10/23, 24 L 藤本 田中 春田 ツカ庵
- 冬山デモ。 10/31-11/3 L スカイ 下田 片山 ハカマ田 ツカ庵  
望望の別山象越
- 春山デモ(黒部源流スキー) L 師田・藤本 + SNUAC 中嶋  
黒田の平の小屋 (渡しの船がなくて先に下ります)
- 前ア 戸川 湯沢 11/20-21 L 吉田 二俣 + SNUAC 車馬  
氷結してあらず高巻きばっかし。上部アツシ氷遊びもする。
- アした山倉宿(鹿島橋-翁) 11/25-27 L 二俣 以下11人  
11/25 ○ 松本=大町=大谷原。一面俣出合。赤岩尾根高4横。平  
11/26 ①(田) T.S. - 冷池の鹿島橋  
11/27 ②(ク) T.S. - 薮ヶ岳 - 南尾根 \* 扇沢 = 大町 = 松本  
通過した低気圧もたいした事はなく、予定より1日早く下山する  
事ができました。ラッセルがあまりなく、フィックスも1P9みの  
ため、若干の不満は残ったものの、アしたとしては久しぶり  
にコースも踏む事ができ、ますますの山行でした。3日  
目に一気に下山したため余、たアルコールを大町で消化しま  
したが、そのため、帰りの汽車、松本駅で…… (とても  
僕には書けません。)

×忘年会 12/11 総会后 一次会 伊那同窓会館 ~ 三次会  
特別参加 農学部 中村健先生(コモン) 氏原先生  
宮崎先生(OB)



再び OB係より (あとがき)

正にかけこみで やつとできあがりました。これで やつと  
OB係の仕事も一つ 果したわけで、今ヨッピリホッと  
しています。OB諸氏への発送が 終れば、もう冬山。今  
年も 終りです。

蒸年は、1/22の総会(栃 松本) から 活動が始まります。  
春山は、知床 (by 藤元) 黒部源流 (by 伊田) 等、  
ど、いくつかの計画が 持ち上っています。

OBの皆様には、これが せい配も かけつづけるわ  
けですが、今後とも 宜しく お願い致します。

それでは、よい お年を .....

